長崎総合科学大学 工学部

船 舶 工 学 科

“ 船舶は日本を支えます！”

船舶工学科 HP：*http://www.ship.nias.ac.jp/*

問い合せ Mail-Address：*ship-staff@NiAS.ac.jp*

〒*851-0193*　長崎市網場町 *536* グリーンヒルキャンパス

Tel：095-838-5158　*Fax：095-838-3548*

NIAS 長崎総合科学大学

“最先端技術を駆使した船”を創造する！

海に囲まれた日本では，環境・エネルギーの観点から物流における海上輸送の主役である船舶の重要性および海洋に関する理解と活用が益々増大しており，特に船舶は日本の生命線である。

この状況を踏まえ，本学船舶工学科は，造船所の造船技術者，小型船舶を建造する造船技術者および海洋を仕事場とする技術者を育成することを教育理念として，造船技術および海洋関連教育を行う。

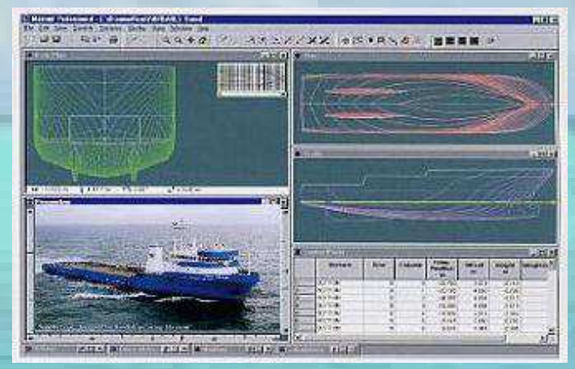
学びのポイント

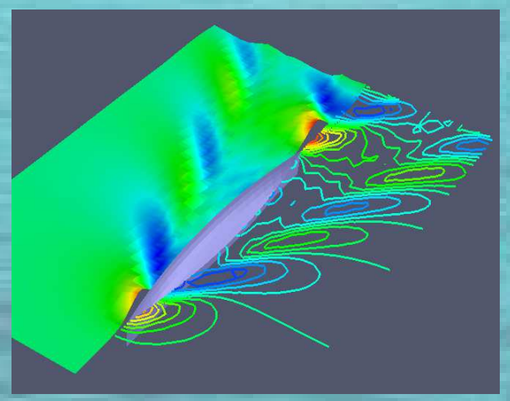
日本を支える造船業は、今後も多くの造船技術者を求めています。
日本で唯一の船舶工学科は創意工夫，実践力に富んだ技術者の育成を目指します。

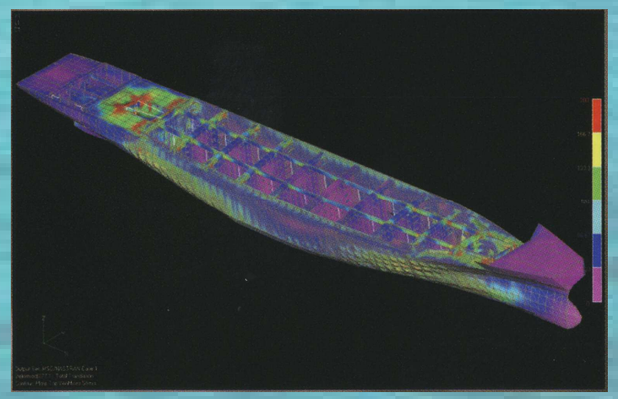
1）動機付け教育を通して，造船工学で必要な技術を実感させ，造船への興味を育みます。

2）造船工学に必要な専門知識や基礎学力を修得し，応用力を養います。

3）学問の実践の場である“ものづくり活動”を通して，自分で考え自分で行動する資質を養い，創意工夫，実践力および人間性に富んだ技術者を養成します。







船舶工学科の４年間

“ クラス担任制を敷いており，１年から４年に掛けて継続的に，
きめ細かい教育指導を行い，就職も強力にサポートしている。”

初年度（１年生）

- 入学後学力到達度テストを行い，船舶数学基礎を学ぶ。
- 造船や海洋に関連する入門基礎を学ぶ。
- 操船学同演習で，ディンギーヨットの操船を体験する。

２年度（２年生）

- 材料力学，流体力学，船体復原論を学ぶ。
- 海洋開発，海洋環境学，海洋資源学を学ぶ。
- 船舶用 ***3D*** ソフトで，***CAD*** と製図を学ぶ。プロジェクトでは，自由な課題でミニ研究を経験する。

３年度（３年生）

- 船体の抵抗，運動，構造強度，設計などの造船専門科目を学ぶ。
- 就職活動開始（工場実習，企業訪問）

４年度（４年生）

- 就職活動と，卒業研究を行う。

研　究　室（４年次の研究分野）

- 船体操縦性 研究室
  未来社会の海上輸送システムの研究や，船舶自動化の開発
- 船舶安全性 研究室
  船舶の波浪中における運動性能と安全性（特に，転覆との関係について）の研究
- 海洋システム 研究室
  多連結浮体による海洋空間利用技術や、自然エネルギー利用技術の研究
- 船体抵抗推進 研究室
  高速艇の性能試験や ***CFD***（数値流体力学）の研究，ソーラーボートの開発
- 構造システム・マリンデザイン 研究室
  船舶の構造強度や造船 ***3D-CAD*** に関する研究，人力水中翼船の開発
- 水面波動力学 研究室
  船や水中翼の起こす波の計算や，振動翼周りの流場シミュレーション
- 海洋環境・海洋スポーツ 研究室
  藻場の再生および河川の生息生物と水質の調査や, 水圏環境リテラシー教育の実践研究

目指す資格・取得できる資格

- 第１級陸上無線技士，第２級海上特種無線技士（本学必要科目の単位取得後，資格申請）
- 船舶主任技術者（卒業後実務経験３年以上）
- 技術士（卒業生は工学部門予備試験免除）
- 安全管理者（卒業後１年以上産業安全実務経験者）
- 熱管理士（卒業後短期研修後，３年間実務経験者）
- １級・２級小型船舶操縦士（本学実技受講後，海事従事者国家試験に合格した者）

過去５年間の就職先

海や船舶に関係する職業は多岐にわたっており，毎年ほぼ 100％の就職率を誇っています。

●三菱重工業	●ユニバーサル造船	●常石造船	●新来島ドック	●大島造船所
●名村造船所	●ｻﾉﾔｽ･ﾋｼﾉ明昌	●福岡造船	●尾道造船	●内海造船
●幸陽船渠	●臼杵造船所	●四国ドック	●佐世保重工業	●深田サルベージ建設
●日本海運	●富士貿易	●スガテック	●ナカタマックｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	
●国土交通省	●日本小型船舶検査機構	●日本海事協会（大学院修了者）		
●海上技術安全研究所（大学院修了者）		●大学院進学		